

[江別市] 施策達成度報告書

政策 02 明日につながる産業の振興

施策 03 商業の振興

主管課 商工労働課

施策の環境変化と課題

| 施策の環境変化 (22年度) | 施策の課題 (22年度) |
|---|--|
| <p>人口の減少傾向が続く中、65歳以上の構成比は22.2%（平成22年10月1日現在）で過去最高となり、消費動向は大きく変化している。</p> <p>また、平成20年度のリーマンショックによる消費動向の冷え込み・デフレ傾向も回復基調にはあるものの、中小企業D.I.は北海道・東北地域、中でも小売・サービス業の落ち込みが大きかったことから、本格的な回復には至っていない。</p> | <p>長期的な売り上げ減少が続く中、市内商店街事業者の支援が課題となっている。また、大規模小売店舗の撤退や地域商店街等の廃業に伴う振興策が課題となっている。</p> |

施策の目的

地域の特性を踏まえた個性的で魅力的な商店街づくりを補助・支援することで、市民が楽しく買い物ができるようにし、にぎわいのあるまちづくりを行い、商店街等中小小売商業の販売額の維持を目指します。

対象 (誰を対象とした指標か)

商業者、商店街（振興組合等）

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

江別市全体の商業者の販売額を増加させる。
地元密着した商店街の売上が増加する。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

| 施策の成果をあらわす指標 | 単位 | 初期値 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 後期目標値 |
|----------------------|----|------|------|------|------|-------|
| 小売業販売額 | 億円 | 920 | 843 | 838 | | 920 |
| 中小小売業（従業員5名未満）の販売額割合 | % | 11.4 | - | - | | 11.4 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

施策の達成状況 (22年度)

札幌市の大型小売店販売動向によると、全店ベース、既存店ベース共に減少傾向が続いているが、品目別では飲食料品販売額が前年を上回るなど、一部で持ち直しの動きもみられる。（平成22年度の実績値算出にあたっては、平成21年度実績値に北海道経済産業局・北海道大型小売店販売動向前年比 0.56%を乗じている。）

| 施策事業コスト | 21年度決算額 | 22年度決算額 | 23年度当初予算 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|
| トータルコスト(千円) | 1,825,751 | 1,487,587 | 1,467,306 |
| 事業費(千円) | 1,787,579 | 1,438,018 | 1,418,834 |
| 人件費(千円) | 38,172 | 49,569 | 48,472 |

01 商店経営の充実

基本事業の目的

店舗の改善や設備の近代化を進め、経営基盤を強化し、品揃えや品質などの魅力を高めます。

対象 (誰を対象とした指標か)

商業者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

経営基盤を強化させ、品揃えなどの魅力を高める。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

| 基本事業の成果をあらわす指標 | 単位 | 初期値 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 後期目標値 |
|--|-------|-----|------|------|------|-------|
| 店舗改善・経営改革した卸・小売者数 【初期値(H19) 前期4年間 3件(累計)】 | 件(累計) | - | 5 | 6 | | 7 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

基本事業の達成状況 (22年度)

江別市商工業設備資金の活用により市内小売業者への資金調達を支援するとともに、該当店舗においては事業拡大と個別消費者ニーズを踏まえた売り場改善を図っている。

| 基本事業コスト | 21年度決算額 | 22年度決算額 | 23年度当初予算 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|
| トータルコスト(千円) | 1,649,657 | 1,301,409 | 1,277,731 |
| 事業費(千円) | 1,640,115 | 1,292,140 | 1,268,362 |
| 人件費(千円) | 9,542 | 9,269 | 9,369 |

02 商店街の活性化

基本事業の目的

消費者にとって便利で魅力のある地域密着型の商店街づくりを進め、日常、地元の商店街で買物をする人の満足度を高めます。

対象 (誰を対象とした指標か)

商店街(振興組合等)

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

商店街としての販売額を増やす。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

| 基本事業の成果をあらわす指標 | 単位 | 初期値 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 後期目標値 |
|------------------|----|------|------|------|------|-------|
| 日常的に商店街を利用する市民割合 | % | 45.3 | 41.1 | - | | ↗ |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

基本事業の達成状況 (22年度)

販売形態については、ネットスーパーや個別宅配など多様化が進んでおり、今まで以上に店舗への来店を誘引する機会づくりが求められる。こうしたことから、商店街が行う集客イベントへの助成等を行い、客数増を支援している。

| 基本事業コスト | 21年度決算額 | 22年度決算額 | 23年度当初予算 |
|-------------|---------|---------|----------|
| トータルコスト(千円) | 143,968 | 143,177 | 144,623 |
| 事業費(千円) | 132,350 | 131,893 | 134,032 |
| 人件費(千円) | 11,618 | 11,284 | 10,591 |

03 観光・イベントによる賑わいの創造

基本事業の目的

市民や商業者が協働して観光や地産地消の市内イベントを開催し、賑わいを創出・維持し、活性化を促進します。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、商業者、観光客

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

観光・市内イベントによって賑わいや訪れる場があり賑わいが創出される。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

| 基本事業の成果をあらわす指標 | 単位 | 初期値 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 後期目標値 |
|----------------|----|---------|---------|---------|------|-----------|
| 観光入り込み者数 | 人 | 981,752 | 793,987 | 749,221 | | 1,100,000 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

基本事業の達成状況 (22年度)

観光入り込み者数自体は減少しているものの、今後も食の展開と連動した「グリーンツーリズム」等、提案型・体験型の観光客呼び込みを図り、より印象に残る地域提案・PRを図っていく。また、食を軸とした観光誘客事業等により、広く集客が見込まれる「北海道の観光と物産展」での地域産品の振興など、道外での周知も行っており、入り込み客数の増加を目指している。

| 基本事業コスト | 21年度決算額 | 22年度決算額 | 23年度当初予算 |
|-------------|---------|---------|----------|
| トータルコスト(千円) | 15,819 | 17,222 | 17,826 |
| 事業費(千円) | 8,350 | 7,550 | 7,644 |
| 人件費(千円) | 7,469 | 9,672 | 10,182 |

主要事業一覧(施策別平成22年度予算)

◎は実施計画事業を、○は主な臨時費を示す。人件費B欄は、各事業へ703人(H22.1.1一般職員数)分を振り分けている。
1人当たり平均単価8,328千円は「一般職総額5,871,246千円/705人(H22.4.1一般職員数)」で算出している。

(単位:千円)

| 政策 施策 | 主 な 事 業 | 事業費 A | A の 財 源 内 訳 | | | | | 主 な 内 容 | 人件費 B | 総額 A+B |
|-----------------|-----------------------|----------|-------------|---|----|---------|--------|---|----------|-----------|
| | | | 国 | 道 | 市債 | その他 | 一般財源 | | | |
| 02 明日につながる産業の振興 | | | | | | | | | | |
| 03 商業の振興 | | | | | | | | | | |
| | ◎ 商工業近代化資金融資事業 | 993,542 | | | | 992,222 | 1,320 | 中小企業者、新規開業者の設備投資等に対する融資事業 | 2,498 | 996,040 |
| | ◎ 商工業活性化事業 | 3,500 | | | | | 3,500 | 商店街振興や地域経済活性化事業に対する補助、【拡大】商店街活性化(1,200千円)、地域資源による製品等開発事業(1,200千円)増額 | 1,249 | 4,749 |
| | ◎ えべつやきもの市イベント振興事業 | 2,400 | | | | | 2,400 | 「第21回えべつやきもの市」事業費補助 | 1,666 | 4,066 |
| | ○ 中小企業信用保証料補給事業 | 10,631 | | | | | 10,631 | 市中小企業関係制度資金のうち信用保証付で借入した場合の保証料補給 | 2,082 | 12,713 |
| | ○ 中小企業振興資金融資事業 | 101,697 | | | | 101,697 | | 市内中小企業者等への運転資金融資事業 | 2,498 | 104,195 |
| | ○ 小規模企業安定資金融資事業 | 295,068 | | | | 294,876 | 192 | 市内小規模企業者(従業員が20人(商業又はサービス業は5人)以下)への運転資金融資事業 | 2,498 | 297,566 |
| | ○ 江別市商店街振興組合連合会補助金 | 800 | | | | | 800 | 商店街振興組合連合会が実施する商店街活性化事業等に対する補助 | 833 | 1,633 |
| | ○ 江別商工会議所補助金 | 8,575 | | | | | 8,575 | 商工会議所が中小企業者全般に実施する経営・技術の改善指導事業等に対する補助 | 2,498 | 11,073 |
| | ○ 内水面水産資源振興事業補助金 | 180 | | | | | 180 | 江別漁業協同組合が実施する繁殖保護事業に対する補助 | 1,249 | 1,429 |
| | ○ グレシャムアンテナショップ管理運営事業 | 4,043 | | | | | 4,043 | アンテナショップの管理運営経費 | 833 | 4,876 |
| | ○ 旧岡田倉庫活用事業 | 1,010 | | | | | 1,010 | 旧岡田倉庫(アトスペース外輪船)活用事業補助 | 833 | 1,843 |
| | ○ 江別駅前再開発事業 | 118,889 | | | | 95,092 | 23,797 | 江別駅前活性化、企業誘致のための業務棟借上げに係る賃料他 | 4,164 | 123,053 |
| | ○ 江別市民まつり事業補助金 | 2,250 | | | | | 2,250 | 「江別市民まつり」事業費補助 | 1,666 | 3,916 |
| | ○ 江別観光協会補助金 | 1,200 | | | | | 1,200 | 江別観光協会に対する事業費補助 | 5,830 | 7,030 |
| | ○ 北海鳴子まつり事業補助金 | 1,700 | | | | | 1,700 | 「第16回えべつ北海鳴子まつり」事業費補助 | 833 | 2,533 |

※平成22年度予算金額です。